

## 平成 22 年度 入澤宏・彩記念若手研究奨励賞

### [心臓・循環分野]



鳥取大学医学部医学科機能形態統御学講座統合生理学分野  
木場 智史

この度入澤宏・彩記念若手研究奨励賞を頂いたことは、光栄であるとともに、お世話になっている方々に感謝しております。私は学位を取得して渡米してからの数年間、ラット心不全モデルを用い、運動時に見られる異常な循環応答に着目しながら、心不全での自律神経機能不全の機序解明を目的とした研究を行ってきました。幸い、Penn State Hersheyでのポストドク期間中にグラントを取得し、ファカルティポジションとラボを得ることが出来、反射性の交感神経調節を心不全で異常にする機序の解明に取り組みました。活性酸素が骨格筋由来の反射に対する交感神経応答を心不全で過剰にする要因であることを示した論文(Koba, Gao, Sinoway, J Physiol 2009)は、責任著者として初めてパブリッシュされた論文です。これが受理された時は、筆頭著者としての論文が初めて受理された時や学位論文が受理された時と匹敵して、とても嬉しく思ったことを覚えています。鳥取大学に2009年夏に赴任してから、渡邊達生教授のご厚意をいただきながら研究環境のセットアップを進めています。現段階で、「循環器疾患における自律神経機能不全の機序解明」に関するテーマの中で、今回の生理学会大会で発表するデータを収集することが出来たのは、それなりの自信となりました。また鳥取大学に来たことで、それまで自分が知らないことを経験することが出

来ていると感じています。鳥取県米子市にある学術・研究機関は鳥取大学医学部のみで、規模は小さいかもしれませんが、バイオ関連での研究者や研究グループの“アカデミックな密度”は濃いと感じています。この環境でいろいろな新しいことを学ぶことが出来るのは、嬉しいことです。

今回、入澤記念賞を頂くことが出来たのは、主にアメリカで行った研究業績を評価していただいたものと思っています。今の私のキャリアステージでこの賞を頂いたことは大きな励み、助けとなるとともに、今後日本で研究を行っていく上で非常に気が引き締まる思いです。真摯に、研究に努力していきたいと思っています。諸先生方には、お導きのほどを重ねてよろしくお願い申し上げます。

#### 略歴

2001.3	大阪大学基礎工学部卒業
2005.9	大阪大学大学院基礎工学研究科修士
2005.10~2008.6	Penn State Hershey ポストドクター
2008.7~2009.6	Penn State Hershey インストラクター
2009.7~	現職